

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 3月 17日

事業所名 チャイルドサポートもりやま 保護者等数(児童数) 回収数13 割合 100 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	3			把握できていない	定期的にスタッフの配置情報等チャイルド通信を通してお知らせする。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	3			わからない トイレの前に段差がある 把握できていない	スロープや小さい段差などの設置を検討する。 スロープなど設置したものに關して保護者さんに共有する。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	11	1	1		計画は立てていただいているが、見直しの頻度は低いように思う	個別支援計画書内容の説明の徹底。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	13					
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	4	2	1	分かりません(記入なし) イベントを通じてなど他のイベントの子ども達との関わりがほしい	他の子どもたちがいる所に参加する機会を作っていく。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	12		1			
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	2	1		モニタリングがない。(半年に一回の)送り時に話しているの	必要に応じてモニタリングの実施をする。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	2			活発に行われていると思う 茶話会としては一度開催されたが、参加者が少なく寂しかった	親子交流会という形で開催の仕方を工夫して今後も続けてい
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	2	1	1	苦情対応 自体発生していない為記入なし	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	1				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	2			ホームページが沖縄のブログ?しか見つからず、守山のものをみたい 11月からチャイルド通信として行事予定を載せてくれるようになったので分かりやすくなった。	ブログのURLなど再周知を行う 1月のチャイルド通信にてもりやまのブログ案内を載せている。
14 個人情報に十分注意しているか	11	2					
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	5	1		あるとは思いますが説明は受けた覚えがない マニュアルがあるかどうか知らない 緊急時対応マニュアルや防犯マニュアルはわからない	今後PDFにて周知出来るようにしていく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	3				
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	11	2			わからない	今後もいろいろな遊びを提供し、子どもたちが楽しんで過ごしていけるように努めます。
	18 事業所の支援に満足しているか	11	2			概ね満足はしているが、翌月活動内容を早めに提示してほ	今年より早めに決定し、チャイルド通信にて載せている。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。